

青少年もがみ

第20号 平成26年8月1日
— 発行 —
最上地区青少年育成連絡協議会

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動、大人はどう変わればよいのか

最上地区青少年育成連絡協議会会長 矢口 信一



最上地区青少年育成連絡協議会が発足して2年目、少子化による小・中学校の統合が進み、新たな学校環境での子ども達の健全育成に、これまで以上に地域の教育力が発揮されており、協議会会員の皆様の御尽力に感謝を申し上げます。

昨年「いじめ防止対策推進法」の制定を受け、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動が実施され、最上地区では推進会議を組織し、取り組んできました。「『もうやめて』聞こえてますか その言葉」最上中の森一乃さんの最上地区優秀作品です。県内4地区43,000点の応募があった標語の中から選ばれた4作品を、民放4局で20日間放送し、周知しました。今年度は高校生にも運動を広め、ポスターやスローガンを作成し、高校生サミット（健全育成県民大会に於いて）の開催を検討しています。「いじめ」はどの子にも、どの学校にもあります。協議会としては「いじめ」の未然防止、根絶に実効性のある取り組みを進めていきます。

「大人が変われば……」の合言葉ではじめた県民運動が15年目を迎えました。キャッチフレーズはインパクトがあるものの、具体的にどう大人が変わればよいのか、イメージを持つことが難しかったのではと思います。子どもは環境に順応して成長します。子どもは環境を変えることはできません。変えるとするなら、大人が、親が考えを変えなければなりません。最上地域の存続と、美しい自然を伝承して行くことを実現できるように考えることこそ、「変わるべき大人」ではないでしょうか。

平成26年度最上地区青少年育成連絡協議会の活動

最上地区青少年育成連絡協議会：最上地区の子ども・若者を健全に育成することを目的に、各青少年育成市町村会議、青少年育成推進員会、学校、PTA、行政が連携し、活動を展開している組織です。

6月12日、最上地区青少年育成連絡協議会総会が最上総合支庁で開かれ、役員を選出や、今年度の活動について協議しました。

1. 役員

- ◇会長 矢口 信一（戸 沢）
- ◇副会長 大山 孝一（新 庄） 笹原 祐一（金 山）
橋本 正（最 上） 矢口 智（大 蔵）
- ◇監 事 小松 功（真室川） 熊沢 健（大 蔵）

2. 主な事業

- 地区青少年育成懇談会 12月6日（土）新庄市民プラザ
- 地区青少年育成推進員研修会 11月15日（土）金山町
- 県民運動の推進

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動
「大人が変われば子どもも変わる」県民運動
「明るいやまがた」夏の安全県民運動

○有害環境浄化活動

簡易広告物除去 有害図書監視 街頭巡視活動

○広報・啓発活動

情報誌「青少年もがみ」20号（8月）21号（2月）発行
青少年育成推進員機関紙「たづな」39号（3月）発行
広報車による街頭広報



【県民運動の広報車】見かけたら手をふってください。

※平成27年度、「山形県青少年健全育成県民大会」最上大会を主管します。